



19時 パソコンに向かう山本



20時 出版社の編集作業は続く

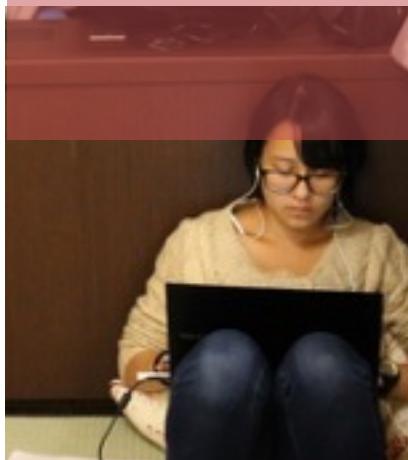


21時 悩む内海



SOCIAL&CREATIVE PHOTO GALLERY

2015/09/07 19:00~24:00



22時 テキスト作成



23時 疲労を漂わせる小泉



24時 さらに会議を重ねます

この場にはいない人へ、情報を届ける

夕飯のすきやきが作り出した和気あいあいとした空気は束の間。お腹一杯で少し眠たい目をこすりながら、すぐにそれぞれの作業へ戻り始めた。XXチームの三田は、八木橋についての記事に載せる写真を編集中だ。ちらっと覗き見ると、たしかにかっこいい。

けれどもその時「この記事さー、八木橋のことを知らない奴は読まないよな。」と先生から指摘が入った。それを受け、それまでバラバラに文章を書いていたチームは「読み手」を意識することについて話し合いを始める。タイミングよく届いたこの場にはいないゼミ生の藤吉から「誰に何を伝える報道なのか」という内容の寄稿文がぐさつと刺さったので抜粋させてもらう。

「この2日間でゼミ生は誰に何を届けたいのか、とSNS上でゼミの様子を追いかける私は思う。長岡ゼミに由縁のない読者が、この文章（ゼミでよく使う言葉の出てくるもの）を理解できるのだろうかと思ってしまった。」

今回私たちが記事を作る時に改めて意識しなければいけないのは、情報発信はコミュニケーションであるということだと思ふ。夜が更けてきたが、最期まで「読み手」を意識した文章を書き続けたいと思う。（大城）